

令和6年度 公益社団法人
上里町シルバー人材センター事業計画書
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

1 現状と課題

身近な感染症や熱暑、雹害、大雪等の異常気象に加えて、各地で発生する地震等の災害は地元で起こらないとも限らず予断を許さない日々となってきています。ロシアによるウクライナ侵攻も終わりが見えないまま、新たな紛争が中東アジアで始まっています。幸い高値で推移している株価に支えられて景気は維持され、物価上昇、賃金上昇かつ人手不足も顕在化してきています。パリ開催の夏季オリンピックや米国大統領選挙により、景気は維持されると考えられますが、人手不足は、高齢者の雇用まで波及してきており、自分で仕事を探してくる会員も多く見受けられます。

令和5年10月に消費税の適格請求書（インボイス）制度が始まり、配分金として会員の方々が受け取った消費税分の仕入税額控除ができなくなり、配分金が大きな割合を占めるセンターでは、税負担が増えています。

また、フリーランス保護新法の施行が今秋に予定されており、就業条件明示と併せて請負契約の契約方法の見直しも立案されています。新しい請負契約方法では、センター、発注者、請負会員の3者間での包括契約が必要となります。配分金は預り金として処理されるため、消費税は発注者の負担となり、センターでの消費税の負担は軽減できますが、発注者と会員の理解を得るという高いハードルを越えなくてはなりません。

会員の高齢化も伴い、今まで行っていた就業がきつくなったり、免疫力の低下により病気にかかりやすくなったりと、急な就業のお休みや辞退も目立つようになりました。安全就業はもとより、適正就業、就業拡大、会員数維持に力を注ぎ、より多くの高齢者の方々に就業していただき、シルバー人材センターから笑顔を地域に広げ、「定住したい町」の一助になるよう努めてまいります。

2 計画目標と方針

- 1) 契約金額の維持（目標：1億3千5百万円、中期計画 1億2千9百万円）
- 2) 派遣比率の向上（目標：契約額の派遣比率 35%、中期計画 18%）
- 3) 会員数を維持（目標：会員数260名、中期計画 240名）
- 4) 高い就業率の維持（目標：86%、中期計画 86%）
- 5) 女性会員比率の向上（目標：34%、中期計画 39%）
- 6) 就業中、就業途上の事故撲滅

3 重点的施策

- 1) 会員数維持（女性比率向上）
- 2) 就業開拓
- 3) 安全・適正就業
- 4) 町役場・町議会との関係強化
- 5) 組織・運営体制の強化

4 会員維持について

隔月で行ってきた、入会説明会である『お仕事説明会』を毎月開催します。その4回に1回は女性限定として、女性の入会を促進します。また、令和7年1～3月には令和6年度の会費を無料とするキャンペーンを実施して、入会へのモチベーションを高めます。会費の値上がりにより、就業していない会員の退会者が増えることが予想されますが、これらの施策により、会員数を維持していきます。

5 就業開拓について

就業開拓専任員が中心となり、引き続き新規の顧客にて就業開拓を進めてまいります。また、会員の望むような就業を増やし、就業率の改善をします。特に、ホワイトカラー向け職種の派遣開拓が急務です。

6 安全・適正就業について

今年度も安全就業に取り組んでいきます。それに加えまして、会員の健康管理のため、フレイル測定等を行います。また、適正就業に関しては、就業実態を把握し、契約内容・就業形態を積極的に見直します。

7 町役場・町議会との関係強化について

シルバー人材センターの事業には、町役場・町議会のセンターの意義と活動に対する理解、支援が不可欠となります。今後も定期訪問を通じて、強化していきます。

8 組織・運営体制の強化について

オフィスの電話器の交換とホームページの暗号化対応を計画しています。昨年度導入した、業務・経理の統合システムを有効活用し、職員の負担を減らします。